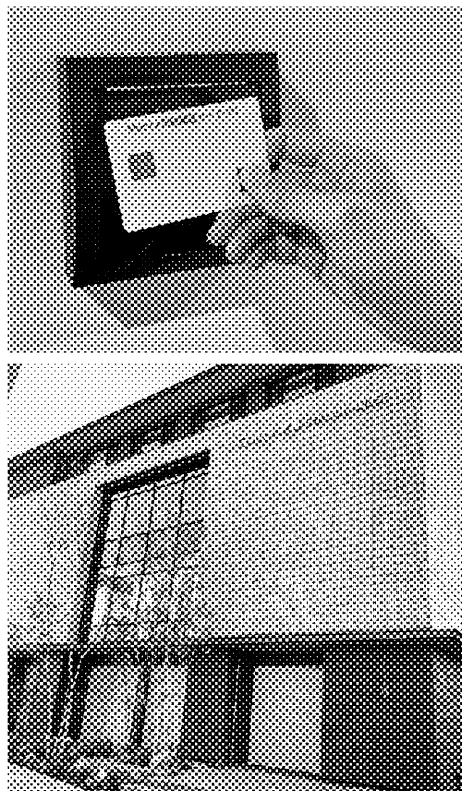


指紋認証 IC カード納入

モリックス、積水ハウス営業所に

不動産・警備に拡販

モリックス（東京都千代田区、久保田守彦社長）は、積水ハウス奈良シャーマン営業所（奈良市）に指紋認証付き IC カードを納入した。営業所内にあるサーバー室のセキュリティ管理に採用された。同カードの採用は初めてで、実用化の障壁となっていた IC チップの供給不足に改善のめどが付いたことから、今後はイベント運営や不動産業界、警備会社などのセキュリティ分野向けに拡販する。2024年度に年間30万枚の販売を目指す。



①モリックスの指紋認証付き IC カード ②サーバー室に同 IC カードを採用した積水ハウス奈良シャーマン営業所

納入した指紋認証付き IC カードは、使用する際にカードのセンサー部分に指を乗せ、IC チップに登録した指紋情報と照合して本人確認し、読み取り機にかざして使用する。カードは事前に専用

登録機で指紋を登録して使用する。登録した指紋以外では使用できず、紛失時の悪用リスクもない。同カードの使用に伴う新規設備導入が不要で、初期費用を低減できるのも特徴だ。

同営業所のサーバー室は顧客情報など重要なデータを管理している。セキュリティ強化のため入室管理に同カードを導入した。久保田社長は「（カードの）実証は重ねてきたが、実際に採用されたのは初めて。幅広い分野で展開したい」と語る。24年2月に完成予定の奈良商工会議所新会館（仮称、奈良市）も同カードの導入を予定している。